

湖北ブロックが **燃える**

1時間で

長浜駅前で 17人が宣伝署名 129筆

今日はすごかったですわ 高教組が13人も来てくれた

「県立高校をつぶすな」。県労連の宣伝カーには大きな看板が張られています。昨日13日、統廃合計画の中止を求める全県行動が始まりました。この日は、午後1時から6時まで、高教組の岡本さん、県労連の今村さん、労働相談センターの辻さんが宣伝カーに乗り込み、辻つじで演説しながら、湖北地域を周りました。6時から長浜駅でチラシ配布と署名行動でした。

夜8時頃、湖北の宣伝に行っていた岡本書記長から電話が入りました。

岡本「今日はすごかったですわ。長浜駅前に17人が集まって、署名が129筆も集まった。高教組がぎょうさん、13人も来てくれた」。いつになく高揚した気持ちが伝わってきます。夕方の駅前宣伝では、岡本さんに続き、ブロック議長の宮川さん、長浜北星の山村さんがマイクを握ります。静かな湖北ブロックが燃える、という感じです。

高校生のほとんど署名 「高校なくなる」ことへの思い切実

観光客は通り過ぎますが、高校生のほとんどが署名をしていきます。高校生にとって「高校がなくなる」ことへの思いは切実です。また、身近な先生が駅前で署名をしている姿に親しみと好感を感じるようです。

高教組の参加者は

伊香 1人 長浜農業 2人 長浜北 1人 長浜 2人
長浜北星 4人 伊吹 2人 本部 1人です。他団体が4人です。

湖北ブロック それぞれの学校の存在意義を確かめ合う

「小規模校が多いから統廃合する」という理屈にどう立ち向かうのか。湖北にとって、これは避けて通れない問題です。この間、湖北ブロックでは、統廃合をめくり真剣な討論を行ってきました。湖北も当分は1学年4～5クラスで問題はありません。しかし、長期で見れば他地域に比べて子どもの減少率が高い現実があります。ハンタイ、ハンタイだけではだめだと、それぞれの高校が大事にしていること、小規模のよさを出し合い、それぞれの学校の存在意義を確かめ合って、ピラに書いてアピールすることをブロック会議で決めました。そうした、学校づくりを基盤においた積極的な討論が、昨日の行動の盛り上がりとなって示されたものです。

集まって行動すれば元気が出てきます。今日は彦根ブロックの行動日です。

今日は彦根ブロックの行動日

6時～7時 彦根駅前で



高校統廃合はストップせよ

速報 第8号 2010/09/14 発行：滋賀高教組

(増し刷りして教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)